

兵庫県立大学の次期学長に求められる資質・能力等

兵庫県立大学の次期学長は、「人格が高潔で、学識に優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力及び法人の経営管理を的確、公正かつ効率的に遂行することができる能力を有する者」であって、下記の要件を満たすものとして推薦のあった候補者の中から、最も適任と認められる者を選考する。

記

1の資質・能力を有すると認められるとともに、2の主要課題に的確に対応できると見込まれる者であること。

1 次期学長に求められる資質・能力

- (1) 学内外から厚い信望の得られる高潔な人格と優れた学識
- (2) 本学の創立の基本理念を踏まえ、創基100周年ビジョンに掲げる「社会から信頼され評価される、世界水準の大学を目指す」使命感
- (3) 本学における教育研究活動の現状と課題を的確に認識し、具体的なビジョンと方策を示して学内構成員を指揮するリーダーシップ
- (4) 理事長と意思疎通を図りながら、法人の経営管理を的確、公正かつ効率的に遂行する能力
- (5) 自らの考えを学内構成員や学外関係者にわかりやすく説明し、学内外の理解や協力を得て合意形成を進める調整力、改革を果敢に進める実行力
- (6) 国内外に本学の存在感を示すための発信力

2 次期学長が取り組むべき主要課題

- (1) 現行中期計画（計画期間：平成25年度から平成30年度）の達成と創基100周年ビジョンの実現に向けた次期中期計画（計画期間：平成31年度から平成36年度）の作成
- (2) 特に課題となっている
 - ア 「組織改革の基本方針」（平成28年6月）に基づく学部等再編の推進
 - イ 教育の質保証、グローバル人材の育成強化をはじめとする教育改革の加速